

市 政 一 般 質 問

(通 告 内 容)

平成 2 5 年 第 4 回

那須塩原市議会定例会

(6 月)

【一 般 質 問 者】

【 6 月 1 0 日 (月)】

2 0 番	山本はるひ	議員	7 番	櫻田	貴久	議員
1 8 番	金子 哲也	議員				

【 6 月 1 1 日 (火)】

1 番	藤村由美子	議員	2 番	星	宏子	議員
5 番	佐藤 一則	議員	1 1 番	高久	好一	議員

【 6 月 1 2 日 (水)】

1 2 番	鈴木 紀	議員	1 9 番	若松	東征	議員
1 0 番	松田 寛人	議員	6 番	鈴木	伸彦	議員

受付番号	平成25年 5月14日
第 / 号	午前 2 時 50分受付 午後

平成25年 5月14日

那須塩原市議会議長 中村 芳隆 様

議席番号20番

山本 はるひ



市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成25年第4回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 市民の政治意識と投票率の向上について	選挙は、私たちの身近な事柄や地域社会のあり方などを代表者に委ねる大切な機会であり、先人の多大な努力によって権利の獲得や制度の確立がなされてきたものです。このため、選挙の投票率は、市民の市政参画や政治意識を反映するバロメーターとも考えられます。このたびの選挙によって、私たち議員は、市民の声を市政に届けるという重い役割を担って選ばれました。しかし、残念なことに投票率は48.99%で、これは半数以上の市民（有権者）には信託されなかったという見方もできます。私はこれを深く受け止め、市民に身近な議会、市民のための市役所（行政）を目指していかなければならないと再認識しています。 （1）市長は、市民の政治意識の現状や投票率の低下について、どのように捉えているのか伺います。 （2）次に、この4月にインターネットを利用した選挙運動を解禁する改正公職選挙法が可決成立しました。これにより、選挙中の候補者と有権者のコミュニケーションがとりやすくなることから、政治への関心の高まりが期待されているところです。その反面、なりすましやいわゆる「デマ」があふれるのではないかとという心配も出てきています。本市のインターネットを利用した選挙

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	運動解禁に向けての取り組みについて、市長の見解を伺います。
	(3) 最後に、市民の政治意識や投票率向上のためには、候補者自身が、市民の皆さんに投票所へ足を運んでいただけるだけの選択に耐えうる政治品質を保っていなければならないことは当然です。さらに、そのためには市政の情報公開も十分でなければなりません。市民の政治意識の醸成や投票率向上のための機運をつくりだすことに対し、今後どのような手法で取り組んでいくつもりなのか伺います。
2. 指定管理者制度について	本市では、平成 18 年度から体育施設などの管理運営を指定管理者に委託しています。委託期間は 5 年のものが多く、同じ業者が、2 度目の継続委託となっている施設もあります。その運営やサービスのあり方について、利用者（市民）から様々な提言を受けることがありましたので、以下のことについて伺います。
	(1) 指定管理者を決めるにあたっては、委託期間を 5 年とする契約ですが、その間の管理運営状況について、市はどのようにかわっているのか伺います。
	(2) いままで、指定管理者のサービスや運営に関して市民から苦情などはなかったか、事故などは起きていないか、伺います。
	(3) 指定管理者にした施設について、設置者としての市の責任はどのようになっているのか伺います。
3. 高齢者外出支援タクシー券について	25 年度予算で半年分になった高齢者外出支援タクシー券については、3 月議会終了後、多くの皆さんからなくしてもらっては困る、説明が十分ではないという声をいただいています。
	(1) あらためて、この事業の経緯について伺います。
	(2) 今後、高齢者が安心して外出できるための支援について、どのように取り組むつもりなのか伺います。

受付番号	平成25年 5 月 21 日
第 2 号	午前 午後 1 時 00 分受付

平成25年 5月21日

那須塩原市議会議長 中 村 芳 隆 様

議席番号 7番 櫻 田 貴 久



市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成25年第4回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 教育現場における体罰問題について	文部科学省は大阪市立桜宮高校男子生徒自殺問題を受け、児童・生徒に対する体罰の実態を把握し、体罰禁止の徹底を図るため、全国の公立小中学校・高校に対し緊急の調査を実施しました。調査対象期間である平成24年4月から平成25年1月迄の10カ月間で、体罰を行ったとして教育委員会が認定した教員数は840人になり、昨年度において体罰で処分された教員数の2倍を超え過去最多とのことであり、体罰を受けた子どもは1,890人という結果となりました。 そこで、本市の体罰問題の以下の点についてお伺いします。 (1)あらためて、本市における体罰の現状をお伺いします。 (2)大阪・桜宮高校体罰最終報告では、学校の教員と市教育委員会の教員出身者がなれ合い構造に陥り、体罰情報を抱え込んだことが問題の背景にあるとしていますが、本市の体罰への対応についてお伺いします。 (3)部活動では勝利至上主義の為、保護者が体罰に異を唱えない風潮もありますが、部活動における体罰の根絶に向けた本市の対応をお伺いします。 (4)体罰に対する目が厳しくなることで教師が委縮してしまい、本来

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	行うべき指導の面で支障をきたすのではないかと心配しております。教師に対する指導など、フォロー体制をお伺いします。
	(5)本市の体罰根絶に向けた更なる取り組みについてお伺いします。
2. 小中学校の施設整備(トイレ)について	小中学校耐震改修工事は平成27年度を最終目標とする耐震改修計画が策定され順次整備が進んでいます。そこで、今回は小中学校におけるトイレ整備の以下の点について、お伺いします。
	(1)本市の小中学校のトイレの設置状況(和式・洋式等)と設置基準についてお伺いします。
	(2)本市の小中学校のトイレについて、今までに何か利用上の問題点はあったのか、お伺いします。
	(3)トイレの洋式化をどのように考えているか、お伺いします。
	(4)今後のトイレ整備についての取り組みをお伺いします。
3. 観光行政について	先日、「県庁おもてなし課」という映画を見て参りました。観光立県を目指し、文字通り「おもてなし」する心で県の観光を盛り立てようというコンセプトで、親しみやすさを狙ってその課名は付いたとのこと。このような、「ふるさとに恋する観光小説」の映画化によって地方の観光が元気になることを期待し、また映画の中であった「観光発展のために独創性と積極性を持ってどんどん企画を立案して欲しい」という県知事の訓示を、本市の観光行政に対する私の思いに込めまして、以下の点についてお伺いします。
	(1)平成24年度における本市の観光客の入り込み数及び宿泊数は増加をしていますが、主な要因をどのように捉えていますか。
	(2)平成25年度の主要事業の、「活力を創出するまちづくり」の中で「風評被害による影響が大きい観光業では、引き続きテレビ、

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	ラジオ、新聞等の各種メディアを活用した観光PR活動を行うとともに首都圏を中心とした観光誘客活動を積極的に進めてまいります」とありますが、具体的な内容をお伺いします。
	(3)4月から政策審議監の木下昭彦氏が就任されましたが、今後の本市の観光戦略の概要をお伺いします。
	(4)本市の観光のポテンシャルをどのように捉えているのかお伺いします。
	(5)今年度は、本市の観光を盛り上げるためにどのような活動をするのか具体的にお伺いします。
4. スポーツを通じた地域振興について	平成23年7月に始まったサイクリングイベント「那須高原ロングライド」は那須地域の復興に大きな効果をもたらしています。
	また、日本初となる地域密着型自転車チーム「那須ブラーゼン」が発足しサイクリングイベントで地域の元気を発信していることから
	以下の点についてお伺いします。
	(1)スポーツイベントをどのように捉えているのか、本市の考えを具体的にお伺いします。
	(2)スポーツを通し、本市に住む人が地域に誇りを持つことができ、更に地域の活性化に寄与し、行政と一体で推進できる活動は、どのようなものが考えられるのか、お伺いします。
	(3)本市として、スポーツを通し何か地域振興の計画はあるのか、お伺いします。

受付番号	平成25年 5 月 22 日
第 3 号	午前 3 時 40 分受付 午後

平成25年 5 月 22 日

那須塩原市議会議長 中 村 芳 隆 様

議席番号 18番

金 子 哲 也



印

市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成25年第4回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 教育文化行政について	市議会の新体制が整いました。私はこの選挙の中で「明るく力強く文化の香り高いまちづくりを目指そう」と掲げて、市民に訴えてきました。未来に向けて子供の教育と文化レベルの向上が最も大切な市政の一つで、未来の那須塩原を支えていくのは教育と文化であると考えます。10年、20年、30年がたってふりかえった時、「ああ、文化が高いまちになったなあ」と思えるようなまちづくりの基盤を今こそ築かなければなりません。
	そこで以下の点について伺います。
	(1) 那須塩原市内の各地域に残る伝統文化や伝統芸能をどう保存し、維持し、支えていくのか伺います。
	(2) 新しい芸術文化として根ざしてきている黒磯オペラ、那須野の大地、那須第九コンサート等の芸術活動に対して、どのような方針で、どのような支援をしていくのか伺います。
	(3) 西那須野地区における産業文化祭の一環として行われる芸術祭、音楽祭について市としてはどのように関わり、どう支援していくのか伺います。
	(4) 文化、芸術に関する市民の功績がいくつか見られますが、それらに対する市の顕彰・表彰・称賛はどのような現状になって

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	いますか。これからはどう考えていくのか伺います。
	(5) 那須野が原ハーモニーホール、那須野が原博物館、黒磯文化会館、三島ホール、日新の館等は、これからの那須塩原市の文化芸術を支える拠点として、大いに期待しております。それらの施設を拠点として、文化振興をどのように、どれくらい取り組む考えなのか、執行部の意欲を伺います。
2. 那須塩原市民の一体感を醸成するために	選挙期間中、大勢の市民と対話をすることができ、大勢の考えや意見を聞くことができました。その中で、大変心の痛む問題がありました。それは合併後の旧3市町の市民がお互いに隣りのま
	ちの意識がぬぐえておらず、一体感にはほど遠い状況であるとの話でした。合併して8年が過ぎましたが、このままでは10年後
	もあまり変わらないで過ぎてしまうのではないかと危惧されます。今当市にとって一体感はとても重要なことと考えます。市の基本精神として考えなければならない「愛市」の精神を築くには
	必要欠くべからざる問題と考え、以下の点について伺います。
	(1) 市民の一体感を醸成するために何か良い思案・試案・企画がありますか。
	(2) 一体感をはぐくむために市全体で一緒に取り組める、心を一つにするような「祭」が最適と考えます。しかも、「巻狩祭」を、
	全市をあげて行うような大々的なものにする必要があると思われる
	ます。例えば、西那須野地区で発進し、那須塩原駅前で転回して、
	黒磯地区で締めるような大きな祭は検討できないでしょうか。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
3. 国道4号の三島地区新国道建設による烏が森公園の改修について	国道4号が三島地区で烏が森公園の一部を分断して通ることで移転工事が進められていますが、昔から地元住民に親しまれてきた公園だけに大きなダメージを受けることは目に見えています。 そこで次の点について伺います。 (1) 新国道建設を反対するわけではないが、そのダメージをなくすためにも烏が森公園の大々的な改造が必要と考えます。西那須野地区には観光資源が少ないところから、市外はもとより県外や全国からも目を見張るような公園として、那須塩原ここにあり、という目玉になる一大観光公園を目指し、市が一体となった「祭」とも結びつくようなスケールの大きいものを検討することができないか伺います。
4. 海外視察と国際交流について	昨年行われた海外都市産業交流促進事業の報告書を見て、画期的なフランス温泉地その他の視察をしてきたことを大変嬉しくその成果を期待して読ませていただきました。やっと海外に目を向けることが始まったかと、その遅さと、喜びとをかみしめているところです。そこで次の点について伺います。 (1) これからの当市の観光事業に対して、今回の視察はどのような収穫があり、今後の取り組みにどのように生かされるのか。研修成果と合わせて伺います。 (2) 国際交流員の招致という嬉しいニュースと同時に、先般の視察地フランスとの今後の交流発展について計画があるのか伺います。 (3) 今年のオーストリアのリンツ市表敬訪問の概要と今後の国際交流の取り組みを伺います。

受付番号	平成25年5月23日
第5号	午前 〆 時 00 分受付 午後

平成25年 5月27日

那須塩原市議会議長 中 村 芳 隆 様

議席番号 2 番

星 宏子



市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成25年第4回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 除染対策について	学校のグラウンドは除染終了しましたが、那須塩原市除染実施計画優先対象施設等の順位の1番に通学路、側溝と記載されております。まだまだ通学路、側溝の除染は進んでいないと考えます。 ① 今後の対策について計画をお伺いいたします。 ② 学校のグラウンド以外の場所、遊具回り、花壇、芝、倉庫の雨樋下など、除染対象としているのかお伺いいたします。
2. 教育行政について	近年いじめや不登校、体罰等教育問題が山積しています。未来の市を支える大切な人材を育てるために市の教育行政について伺います。 ① スクールカウンセラー、心の相談員の配置の現状について伺います。 ② 平成24年度那須塩原市の教育要覧にある特別支援教育の推進において、「幼・保、小、中、高の連携と個別の教育支援計画の作成による継続した指導・支援」と記載されておりますが、現在はどう様に取り組んでおりますか。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
3. 公共施設整備計画について	公共施設のトイレについて、利用しづらいとの意見を数多く耳にします。生活様式の変化や施設の利用者層に応じたトイレの整備が必要と考えることから、整備計画について伺います。
	① 小・中学校のトイレについて
	一般家庭でも洋式トイレが普及しており、和式トイレに慣れていない小学校低学年の児童は、汚してしまったり、きんかくしに腰を掛けて用を足したりしている。また近年では、男子でも洋式トイレを利用する児童が増えていると伺っています。
	小・中学校のトイレも和式のところが多くあるが、今後、洋式にする計画はありますか。
	② 公民館やスポーツ施設のトイレについて
	公民館は高齢者の方も多く利用する施設の一つです。和式だと膝や腰に負担がかかるため、洋式トイレにすべきと考えます。
	また、戸外のスポーツ施設のトイレも設備が古く、防犯の意味からも見直しの時期ではないかと考えますが、いかがでしょうか。
	③ 市営の霊園のトイレについて
	赤田霊園は景観もよく、市外、県外からも墓参に沢山いらっしゃいますが、「市の霊園なのに、トイレが簡素で、不衛生で入りたくても、入れない」とのご意見をいただきました。
	今後、建て直す計画はありますか。

受付番号	平成25年5月24日
第6号	午前 午後 / 時40分受付

平成25年 5月24日

那須塩原市議会議長 中村芳隆様

議席番号 5番 佐藤 一則



市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成25年第4回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 道路行政について	本市の道路網は、国道4号や東北縦貫自動車道が走り交通の要衝となっています。その機能が十分に生かされるよう次の点についてお伺いします。
	(1) 主要地方道西那須野・那須線の整備については、総合グラウンド西線から本郷通りまで開通し市内の交通事情は格段に良くなってきております。これらは県当局のご努力によるものと深く敬意を表するものであります。しかし、その後上黒磯から那須町間の都市計画道路3・3・2 黒磯・那須北線の整備が進んでなく晩翠橋での朝夕の渋滞が発生しており、当区間の早期整備が望まれるところでありますので、次の点についてお伺いします。
	① 今後の整備計画についてお伺いします。
	② 県及び那須町との検討委員会が設置されていると思いますが今までの検討内容についてお伺いします。
	(2) 同じく主要地方道西那須野・那須線の島方団地上中野線から石林通り線間の整備計画については、大型スーパーの出店、井口工業団地、赤田工業団地、四区工業団地、国際医療福祉大学付属病院などの通勤者により朝夕の交通渋滞が激しく時には数キロメートルにも及ぶことがあります。当区間については、用地はす

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	でに確保され、遅沢橋橋台も設置されております。利用者が不便
	を来していることから次の点についてお伺いします
	① 今後の整備計画についてお伺いします。
	② 市としては現在の渋滞をどのように捉えているかお伺いしま
	す。
	(3) 主要地方道矢板・那須線の整備については、関係市町との
	期成同盟が設立され、県に対しまして当路線の整備促進要望を行
	っており、着実に進んでおります。県当局及び期成同盟会の活動
	に敬意を表するところであります。しかし、箒川に架かる堰場橋
	付近につきましましては、急カーブであること、橋の幅員が狭いこと
	から次の点についてお伺いします。
	① 当区間の今後の整備計画についてお伺いします。
	② 事業実施のため地元説明会を行ったと聞いていますが、その
	内容とその後の状況をお伺いします。
	(4) 市道の舗装修繕については、日頃より舗装打ち換え、オー
	バーレイによる舗装、パッチングによる穴埋め等で対応している
	ことと思います。しかし、幹線道路以外の道路ではパッチングに
	よる修繕が多く、その機能が損なわれていますので、舗装修繕を
	行っていただきたく次の点についてお伺いします。
	① 相当数の路線があると思いますがその道路状態をどのような
	方法で把握するのかお伺いします。
	② 今後の市道全体の詳細修繕計画についてお伺いします。
2. 高齢者外出支援タクシー券	高齢者外出支援タクシー券については、今年度上期で終了する事
について	になっていますが、今回の市議会選挙にあたり市内各地を回り
	「何故無くなるのですか?」「無くなると困ります。」という声を
	多くの皆さまからいただいておりますので、次の点についてお伺い

受付番号	平成 25 年 5 月 27 日
第 7 号	午前 午後 10 時 15 分受付

平成 25 年 5 月 27 日

那須塩原市議会議長 中村 芳隆 様

議席番号 11 番

高 久 好 一



市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成 25 年第 4 回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 指定廃棄物の対策について	たまり続ける放射性物質を含む指定廃棄物を保管する現状と 今後の対策について市の考えを求める。
	① 5 月 27 日開催の市町村長会議に臨んだ方針と結果について どのように評価しているか。
	② 市の指定廃棄物保管量が県内全体の約 3 割を占めている。 今後の見通しと最終処分場対策はどのように行われるのか。
	③ 市民への周知と東電への賠償請求などとあわせ、県・国への 要請はどのように行われているか。
2. 年金と生活保護について	国連社会規約委員会は、日本政府に対して最低保障年金の実現 ・生活保護での申請手続きの簡素化と申請者の尊厳を守った対応 をするよう勧告を出したが、市民を守る考えと対策を求める。
	① 低年金・無年金の高齢者の中での貧困が広がっている。 市はどのように捉えているか。
	② 国の年金改革では、高齢者を年金受給がないまま放置されて いる。改善に向けた国への要請はどのように行われているか。
	③ 申請者の尊厳を守り、生活保護についている恥辱感を根絶す るために必要な手立てを取る考えがあるか。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	④ 国連勧告を市民へ周知する考えはあるか。
3. 国保行政について	高くて払いきれない国民健康保険税、依然として資格証・短期証の発行が、県内市町の中で高い位置を占め続けている。 市民の健康と命を守る市の考えを求める。 ① 資格証・短期証発行世帯の収入や年齢の構成は把握されているか。 ② 減免制度の活用や、納税相談などの対応は充分行われているか。 ③ 資格証・短期証の発行基準を改善し、資格証の発行をやめるための対策は充分行われているか。 ④ 全日本民医連による報道では、国保税や医療費の窓口負担が払えないなどという理由で、受診が遅れ亡くなった方は、昨年全国で58人、県内でも1人発生していると言われている。 無料・低額診療の制度周知を行う考えはあるか。 ⑤ 国へ国庫負担の増額を求める要請は、どのように行われているか。
4. 難病対策について	障害者手帳を持たない難病患者も4月から、居宅介護や補装具などの利用ができるようになったが、現状と課題について市の考えを求める。 ① 周知の遅れや不十分さが報道されているなか、該当する市民の把握はどのように行われているか。 ② 制度の谷間を埋める改善措置によって、新規に申請した市民はどのくらいか。 ③ 周知の方法・体制の整備は充分確保されているか。

受付番号	平成 25 年 5 月 27 日
第 8 号	 午後 11 時 40 分受付

平成 25 年 5 月 27 日

那須塩原市議会議長 中 村 芳 隆 様

議席番号 12 番

鈴木 紀



市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成 25 年第 4 回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 道路行政について	新年度に入り新一年生も元気に小学校に通って清々しく思います。健やかに元気に通学してほしいと願う一方で思いだされるのは、2012年4月に京都府亀岡市で、集団登校中の児童の列に軽自動車がつっ込み、3人の児童が亡くなるという事故です。 歩道や通学路の安全対策が急がれることと考えますが、本市の取組について伺います。 (1) 歩道整備について ①主要地方道黒磯黒羽線の歩道整備の現状と今後の取組について ②県道東小屋、黒羽線の歩道整備の現状と今後の取組について (2) 通学路の安全対策について ①市の教育委員会として通学路の把握はしているのか、お聞かせください。 ②平成24年度に実施した通学路の危険箇所点検では、75箇所にも及ぶ危険箇所が見つかりました。平成24年度において未整備、整備予定となっていた危険箇所が、現在どうなっているのか伺います。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	③今年度通学路整備事業で、計画してある地域はどこなのか
	お聞かせください
2. 空き地、空き家、空き店舗	信号機の無い十字路交差点の角にある空き地や道路沿いに
対策について	空き家があるため、草木等が繁茂し交通の支障となっている箇所
	が数多くあります。以下の点について伺います。
	(1) 空き地、空き家の所有者に対し、現在市が実施している
	ことはどのようなことですか、また、今後はどのような対応が
	考えられますか、お聞かせください。
	(2) 空き店舗を利用した市街地活性化を図るに当たり市は、
	どのような事業を検討しているのか、お聞かせください。
3. 高齢者対策について	高齢者外出支援タクシー料金助成事業が9月末をもって廃止
	になるとの発表がありました。今までタクシーを利用されていた
	高齢者の人達にとって、今後使えなくなるのは非常にこまると
	いう意見をたくさん頂きました。以上のことから伺うものです。
	(1) 3月議会におきまして、市の今後の財政状況を鑑み廃止す
	ると答弁されていますが、何故、年度途中の廃止としたのか伺い
	ます。

受付番号	平成25年5月27日
第9号	午前 午後 4時30分受付

平成25年5月27日

那須塩原市議会議長 中村芳隆様

議席番号19番 若松東征



市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成25年第4回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 下水道整備について	東那須野団地（佐野団地）は、栃木県住宅供給公社が昭和40年頃から分譲し、現在100軒以上の住宅があるが、下水道は整備されていない。黒磯地区の下水道工事は、昭和49年頃の排水計画の見直しにより下水道事業認可を受けて、公共下水道事業を進めてきている。そこで次の点について伺います。 (1) 東那須野団地の排水処理はどのように行われているか。 (2) 下水道計画区域は7年に一度見直すとされているが、東那須野団地を計画に加える検討はできないか。
2. 道路行政について	道路整備については、全国的に未整備区間の放置が問題となっています。国・県・市町村共に財源が厳しいなか、整備路線も選択を余儀なくされていることから、以下の路線について整備計画と進捗状況について伺います。 (1) 主要地方道、県道72号大田原芦野線の整備計画と進捗状況について伺います。 (2) 主要地方道、県道60号黒磯棚倉線、整備計画と進捗状況について伺います。 (3) 国道4号東那須野地区の工事進捗状況について伺います。

受付番号	平成25年5月27日
第10号	午前 午後 4 時 40 分受付

平成25年 5月27日

那須塩原市議会議長 中 村 芳 隆 様

議席番号 10 番 松 田 寛 人



市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成25年第4回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1、除染実施計画について	那須塩原市では、放射性物質汚染対処特別措置法（略称）等に基づき「那須塩原市除染実施計画」を策定し、学校・保育園等を対象に表土入れ替えやホットスポットの除染を優先してきた。 昨年度からは、一戸建て住宅を対象とした平均空間放射線量が0.23マイクロシーベルト以上の「住宅除染事業」に着手し、現在工期を平成25年6月28日まで延長している。また、今までに除染については代表質問や一般質問でさまざまな議論がなされてきた。 そこで、本市における現状と今後の対応について伺います。 ①除染事業の現在までの進捗状況を伺います。 ②業者選定等について伺います。 ③市民からの意見とその対応について伺います。 ④工期延長の理由を伺います。
2、外国資本による森林買収について	平成22年北海道議会で調査結果が発表されました。日本の森林の4分の1を所有する北海道では、個人を含む海外資本による森林買収が進んでおり、現時点で33件、820ヘクタールの水源林が海外資本のものとなっていた、ということ。さらに、3万9

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	千ヘクタールにも及ぶ森林について、所有者が分からない状態である、というものでした。
	昨年、栃木県議会9月議会において、自民党県議が質問し平成24年の県北地域（那須塩原市）において1ヘクタールの取得があったとの答弁があり、県では「市町村と連携した情報収集に努める」「取引の際の事前の届出を規定した条例整備なども国の法制化の動向等を踏まえ検討する」との答弁があった。
	今後グローバル化が進む中、栃木県での外資による土地所有は那須塩原市である以上豊かな森林を守るためには、条例などの整備が必要ではないかと考えております。
	そこで、本市における現状と今後の対応について考えを伺います。
	①外資による森林売買についてどの程度把握されているか伺います。
	②土地買収のグローバル化現象に対する認識について伺います。
	③今後、国・県・市との協議において条例等の整備を考えているのか、また、市独自に条例整備を行っていくのか伺います。
	④本市の今後の対策について伺います。

受付番号	平成25年5月27日
第//号	午前 4時50分受付 午後

平成25年5月27日

那須塩原市議会議長 中村芳隆 様

議席番号6番 鈴木伸彦



市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成25年第4回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 子供医療費無料化について	本市においては本年度4月よりこども医療費助成制度の改正に伴い未就学児は無料、小学生は500円、中学校1年生から18歳までは2,000円の診療明細書ごとに自己負担となりました。しかしながら、少子化対策や子育て環境の充実を考えるならば、更なる市の支援を検討していただきたい。
	そこでお伺いいたします。
	① 本市における中学生まで又は高校生まで医療費を無料化した場合の各々の予想される負担増額はいくらか。
	② 無料化を実施する考えはあるか。また、実施にあたっての問題点をどう考えているか。
2. 三島地区国道4号バイパス計画について	三島地区を通る国道4号のバイパス計画は都市計画が決定され40年以上の歳月を経た今日、実施されようとしております。その間、地域の土地利用状況は大きく変化しております。
	そこでお伺いいたします。
	① 道路の買収から完成までの予定及び計画内容について。
	② 国の事業であり、市としての対応は非常に難しいものであった事と推測するが、路線変更等本市の発展と土地利用の変化に十分考慮した判断がなされたものと考えているか。

[illegible]